

第2章 現代の経済

2 現代経済のしくみ

2 生産のしくみと企業 (教科書 P.122~125)

▶1. 企業の活動 [p.122]

(1) 財・サービスの生産・販売による [] 追求

利潤 = 売上高 - 費用 (原材料費, 人件費, 広告・宣伝費, 利子を払い, 減価償却費など)

[] (マーケット・シェア) アップも利潤追求のあらわれ

(2) 設備投資: 生産と並ぶ企業の重要な活動

[] → 企業規模の量的・質的拡大

↑

新技術導入・研究開発 (R&D) による新技術開発 (近年その比重増大)

▶2. 株式会社 [p.123]

(1) 企業の形態

- ・個人企業: 農家, 個人商店など
- ・法人企業 (会社): 複数の個人が共同出資

→ 株式会社, [], 合資会社, 合同会社

(2) 株式会社…現代企業を中心

- ・出資者 (株主) のもつ持ち分 ([])
- …市場の需給関係で価格 (株価) が決定される
- ・株主は企業倒産にあたっては自己の権利を失うのみ ([])
- ・所有と [] の分離…経営者による自律的経営
- ・株主総会 (株式会社の最高意思決定機関)
- 経営者選出
- 最近では株主が経営に対し発言する傾向が強まる

▶3. 株式会社の活動と資金 [p.124]

(1) 株式会社の資金調達

①内部留保（利潤を配当せず蓄積）	}	自己資本：返済の必要なし
②〔 〕発行		
③社債の発行	}	〔 〕：元利返済の必要あり
④金融機関から借り入れ		

▶4. 現代の企業 [p.124]

(1) 企業経営の合理化

①求められる企業の自己改革

：〔 〕（事業の再構築），経営の多角化，分社化，
アウトソーシング（部門や事業の外注）など

②〔 〕（合併・買収）による企業規模拡大

・〔 〕（複合企業）…異業種間合併

：アメリカで1980年代に多発

バブル崩壊後の日本でも頻発

・多国籍企業…現地法人による国境をこえた企業活動

(2) 競争激化にともなう規制緩和

・〔 〕制度の解禁（1997年），自社株保有規制の緩和

(3) 企業の社会的責任

①バブル期の企業

：〔 〕（芸術・文化支援活動），フィランソロピー（慈善活動）実施

②近年の企業

：社会的責任（CSR）重視

…環境保護，法令遵守（コンプライアンス）

社会起業家（ソーシャルビジネス提起）

企業情報の開示（ディスクロージャー）の促進

〔 〕（企業統治）